

第12回 井上宇市記念賞

1. 井上宇市記念賞：井上宇市賞（2名）

1) 伊香賀 俊治（慶応義塾大学理工学部システムデザイン工学科 教授）

◆受賞業績：建築物 LCA 手法の確立とカーボンニュートラルとウェルネスの推進

◆推薦理由：伊香賀俊治君は、民間企業および大学における長年の研究開発・教育活動を通じて、建築環境学・建築設備学に関する技術および学術の進展に貢献し、多数の人材の輩出に寄与した。特に、建築物の LCA 手法の確立と建築物の環境設備設計と研究開発に取り組み、カーボンニュートラルとウェルネスの推進に貢献した。これらの成果は、本会の技術賞、技術振興賞、功労賞のみならず、建築環境・省エネルギー機構サステナブル建築賞などの多数の賞の受賞で評価された。また、本会においては、技術報告、報文の他、大会学術講演論文集にて多数の発表があり、技術理事、各種委員会の委員長・幹事・委員を務め、学会の運営と発展に大きく貢献した。これらの成果は、本会の功績賞、技術賞、技術振興賞など、多数の受賞で評価されており、学会の運営と発展に大きく貢献した。よって、ここに井上宇市賞を授与する。

2) 丹羽 英治（株式会社日建設計総合研究所 フェロー）

◆受賞業績：環境配慮型建築・省エネルギー街区の計画・設計

◆推薦理由：丹羽英治君は、設計事務所勤務を通じて関西地区を中心に数多くの環境配慮型建築の計画・設計に取り組み、また環境・建築・都市の研究にも多く関わっている。研究機関に移ってから実務・学術の両面で空気調和設備及び環境工学の発展に寄与している。さらに、本学会 21 世紀ビジョンの一つの柱である“ZEB と低炭素化技術への圧倒的寄与”推進のために設立された ZEB 定義検討小委員会の主査を務め、この委員会を通じて 2015 年「ZEB の定義と評価方法」を公開している。この定義はその後の日本の ZEB 定義評価の基礎となり、その後も 2021 年度まで ZEB 関連小委員会の主査を務めている。この ZEB の定義は公共建築物、民間建築物問わず広く一般に国内で活用・参照されており、今後の建設物のカーボンニュートラルへの取り組みに対して現在大変重要な功績といえる。これらの成果は本会の各種の報文によって報告されており、学会の運営と発展に大きく貢献した。よって、ここに井上宇市賞を授与する。

2. 井上宇市記念賞：アジア国際賞（1名）

1) Yinping Zhang (Professor, Dept. of Building Science, Tsinghua University)

◆受賞業績：室内空気質及び建物省エネルギーに関する顕著な業績

◆推薦理由：Yinping Zhang 教授（清華大学建築科学学部）は、室内空気質並びに建物のエネルギー効率の分野で世界的な活躍をしており、この分野の非常に優れた研究者の 1 人として認められている。Zhang 教授は 10 冊以上の著書を出版するとともに、国際的に著名なジャーナルにおいて 270 以上の論文を発表している。Zhang 教授は、3 つの中国の室内空気質関連規格のハンド

ブックの編集長であり、30 を超える中国の室内空気質または建築エネルギー関連規格の編集委員会のメンバーを務めている。また 4 つのインターを含む国際会議で 20 以上のプレナリー/基調講演を行っている。Zhang 教授は、ISIAQ (International Society of Indoor Air Quality and Climate) のフェローであり、また事務局長 (2018-2020) 並びに副会長 (2020-2022) も歴任しており、国際的にも非常に精力的に活躍している。現在アジアにおける最も活動的な室内空気質の研究者の一人であり、本会の井上宇市記念賞・アジア国際賞にふさわしい研究者であると判断できる。よって、ここにアジア国際賞を授与する。